

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 井手久武	電話番号	0852-22-5909
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	普通高校等情報教育機器整備事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童・生徒	
	(2) 意図	情報化に対応した学校教育を受けられるようにする。	
事業概要	県立高校及び特別支援学校の児童・生徒が適切に情報教育を受けるために必要なコンピュータ機器やネットワークを整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 教育用コンピュータの更新率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 更新実績数÷更新対象台数	実績値	100.0	100.0				%
		達成率	-	100.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	87,643	86,524
うち一般財源 (千円)	87,643	86,524

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

教育用コンピュータ機器やネットワークについて、更新計画に基づき更新している。
--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

教育用コンピュータ機器やネットワークの更新を計画的に行うことができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>現状のパソコン教室における情報機器(据え付け型)では、室外に持ち出しての利用といった柔軟な学びのスタイルに対応できていない。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>国の第2期教育振興基本計画や次期学習指導要領改訂案の検討において、ICTを活用した教育の推進による新たな学びの実現を求められている。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>今後更新整備を行っていくパソコン教室における情報機器は、個別学習や協働学習に活用できるような調達仕様の検討が必要。</p>

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

新たな学びの実現に向けた調達仕様について関係課と連携して検討し、計画的に調達していく。
